

企業名： 住友電気工業株式会社

レポート名： 住友電工統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

「住友事業精神」と「住友電工グループ経営理念」のもと、公正な事業活動を通じて、社会に貢献することを不変の基本方針とし、より良い社会に貢献すべく、「Glorious Excellent Company」を目指している。ここでいう Glorious は不変の定性的な在りたい姿を、Excellent は定量的な在りたい姿を表している。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

国内外の自動車メーカーにおいて数多くの車種に採用される「高強度アルミハーネス」や、世界に先駆けて開発してきた光ファイバの量産技術と新たに開発した低損失化技術を組み合わせることで実現した超低損失の光ファイバなど、現代の自動車産業や通信技術産業に役立つ、他とは差別化された製品を製造・販売することで競争を優位に保ってきた。また、住友電工は戦略も素晴らしく、グローバル企業であるがゆえの対応力であったり、長い歴史のなかで培ってきた技術力やチーム力であったりを存分に発揮して事業を展開しているため、住友電工の競争優位性は簡単には崩れないと考えられる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

住友電工はグローバル企業であるため、世界各国に市場を持っている。そのため、市場基盤が非常に安定しており、簡単には成績不振にならないという特長を持っている。また、報告書には 2030 年の世界の姿を予測し、10 年後の世界がどのような世の中になっているかを加味した上での事業プランや製品が掲載されている。このことから、住友電工は優れた洞察力及び観察力を持っており、未来を見据える力があることがわかる。加えて、長い歴史のなかで培われてきた技術力があり、グローバルな対応も可能なため、住友電工の競争優位性には持続性が十分にあることがうかがえる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

この会社で自身の人的資本の価値向上を達成することは十分に可能であると思う。住友電工は新入社員研修や昇進者研修に力を入れており、会社により役立つ社員の育成に注力している。また、住友電気工業はグローバル会社であるため、言語の違う社員ともコミュニケーションを問題なくとることができるよう、それに対応した研修プログラムも含まれている。さらに、年に一度、世界中に存在する住友電工グループ会社の人材育成担当者を集めて会議を行っており、人材育成には抜かりがないといえる。以上の理由で、住友電工で自身の人的資本の価値向上を達成することは可能であると考えられる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

財務状況や製品が、グラフや写真、簡潔な説明が用いられていることで非常にわかりやすくなっていたが、その分ページ数が多くなり、すべて読み切るには相当な労力が必要になることは改善すべき点だと感じた。